

## 会員の活動報告

(2016年11月～2017年10月)

### 奥 純

- アラン・ロブ＝グリエの後期作品の研究（2） — 『戻ってくる鏡』と自伝空間（『関西大学文学論集』第66号第3号、関西大学文学会、2016年12月）
- アラン・ロブ＝グリエの後期作品の研究（3） — 『アンジェリックまたは蠱惑』と虚構空間 — 『仏語仏文学』第43号、2017年2月）
- アラン・ロブ＝グリエのロマネスク3部作について（1）（口頭発表、関西大学フランス語フランス文学会、2016年12月）

### 柏木 治

- 『スタンダールのオイコノミア ～経済の思想、ロマン主義、作家であること～』（関西大学出版部、2017年3月）
- 銀行家と小説 — スタンダールにおける銀行家の位置（『関西大学文学論集』、第66巻3号、関西大学文学会、2016年12月）
- 1820年代の「個人主義」論とスタンダール（『関西大学文学論集』、第67巻1号、関西大学文学会、2017年7月）
- 文化と文化遺産（公開セミナー講義録、『平成27年度文化財保存修復セミナー講義録』、関西大学国際文化財・文化研究センター、2017年2月）
- 「楽しみな13歳」（織田作之助青春賞・U-18賞選評）、（『毎日新聞』、2017年1月10日）
- 第三十三回織田作之助青春賞選評、（『三田文学』、第128号（冬季号）、三田文学会、2017年1月）
- 「楽しみな13歳」（織田作之助青春賞・U-18賞選評）、（『文学回廊』、大阪文学振興会・織田作之助賞実行委員会、第2号、2017年3月）
- 読書教養講座「読む楽しみ、書く楽しみ」（ゲスト：中江有里氏、講演と対談）（21世紀活字文化プロジェクト、読売新聞社2016年12月10日）
- 読書教養講座「職業としての物語作家」（ゲスト：桜庭一樹氏、講演と対談）（21世紀活字文化プロジェクト、読売新聞社、2017年10月11日）

### 川神傳弘

- 『宗教から実存へ』中世から現代へ — 西洋文学の伝統の様々な形（東西学術研究

所研究レポート第54、2017年3月)

- ・『宗教から実存へ』（関西大学東西学術研究所、2017年2月）

#### 友谷知己

- ・ジャン=ポール・オノレ「ラ・フォンテーヌ「狼と仔羊」における権力、暴力、レトリック」（翻訳、『仏語仏文学』第43号、2017年3月）

#### 内藤義博

- ・『フランス・オペラの美学 音楽と言語の邂逅』（水声社、2017年10月）

#### リコ=ヨコヤマ・アドリアナ

- ・Le mystère du Mal, le mystère du Bien ? – Analyse de l’essai de Pierre Bayard : *Aurais-je été résistant ou bourreau ?* – Seconde partie（関西大学『文学論集』第66巻3号、関西大学文学会、2016年12月）

2016年12月

- ・Les enjeux de l’approche plurilingue pour l’enseignement des langues au Japon（口頭発表、第30回獨協大学フランス語教授法研究会、2016年12月）
- ・Évolution de la perception du bureau de masse en France : entre fascination et identification（口頭発表、関西大学フランス語フランス文学会、2016年12月）

#### 山川清太郎

- ・「外国語教育と検定試験 — 授業は検定試験とどう関わるのか」（シンポジウム、「フランス語教員はどのように仏検と向き合うのか？」パネリスト、日本フランス語教育学会、2017年6月）
- ・iTeachers TV なんでも3ミニッツ『ネットで世界の会話に触れてみよう！』、iTeachers TV Vol.106、2017年8月30日配信

修士論文題目

2017年3月

中本ゆみ子

モリエールの喜劇的手法 — 『町人貴族』を中心に —

## 後 記

本年も、『仏語仏文学』をお届けする時期になりました。本号で第44号になりますが、本号も充実した論集にすることができました。原稿をお寄せいただきました会員の皆様、および本号の刊行に協力いただきました皆様には、厚く御礼を申し上げます。

本学会2017年度研究発表会・総会が2017年12月16日（土）午後3時から、関西大学千里山キャンパス第1学舎C302教室において開催されました。川神傳弘名誉教授による滋味深い発表とAdriana RICO-YOKOYAMA教授によるフランス語での発表が行われ、充実した研究発表会となりました。当日の発表題目を以下に紹介しておきます。

- 1) 「歴史的なもの」と「歴史主義」の懸隔 ベルジャーエフ サルトル カ  
ミュ  
本学名誉教授 川神傳弘 氏
- 2) Altruisme : la genèse d' un doute (et son destin)  
本学教授 Adriana RICO-YOKOYAMA 氏

また、総会終了後、2017年度春に瑞宝中綬章を受章されました平田重和名誉教授と本田忠雄名誉教授をお招きして受賞祝賀会を開催いたしました。多くの会員・元会員の皆さまにご参集いただき、和やかな祝賀会になりましたこと、感謝申し上げます。

末尾ながら、会員各位のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(編集委員会)

## 関西大学フランス語フランス文学会々則

1. 本会は関西大学フランス語フランス文学会 (Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) と称し、事務所を関西大学文学部フランス語フランス文学専修合同研究室に置く。
2. 本会はフランス語フランス文学に関する研究および発表と、これに関連する事業を行なうことを目的とする。
3. 本会は次の事業を行なう。
  1. 機関誌「仏語 仏文学」(Bulletin de la Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/The Bulletin of Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) およびその他の出版物の刊行。
  2. 研究会・講演会の開催。
  3. その他本会の目的にかなう事業。
4. 本会はその目的に賛同する次の会員をもって構成する。
  1. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修専任教員。
  2. 関西大学大学院文学研究科フランス文学専攻・専修学生、およびその修了者 (旧学科名称時の大学院修了者を含む)。
  3. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修学生、およびその卒業生 (旧学科名称時の学部卒業生を含む)。
  4. 本会の趣旨に賛同し、入会を認められた者。
5. 本会の目的を達成するため会費を納入する。
6. 本会に次の役員を置く。その任期は1年とし、重任を妨げない。
  1. 会長 1名
  2. 委員 若干名
    - a. 企画委員
    - b. 編集委員
    - c. 庶務・会計委員会長と委員によって委員会を構成し本会の実務の運用に当り会長はこれを統括する。
7. 会員は機関誌「仏語 仏文学」等の配布をうける。また会員は機関誌への投稿、および本会の行なう事業に参加することができる。なお、投稿論文は、会則6に定める委員会の議を経て掲載される。
8. 本会の重要事項は総会の議決による。

(2007年4月1日から施行)

## 仏語 仏文学 第44号

2018年3月15日 発行

編集・発行 関西大学フランス語フランス文学会  
吹田市山手町 関西大学  
フランス学研究室  
印刷所 株式会社 遊文舎  
大阪市淀川区木川東4丁目17番31号  
電話 (06) 6304-9325(代)

(非売品)